

NEW

新型コロナに関する 新機能搭載

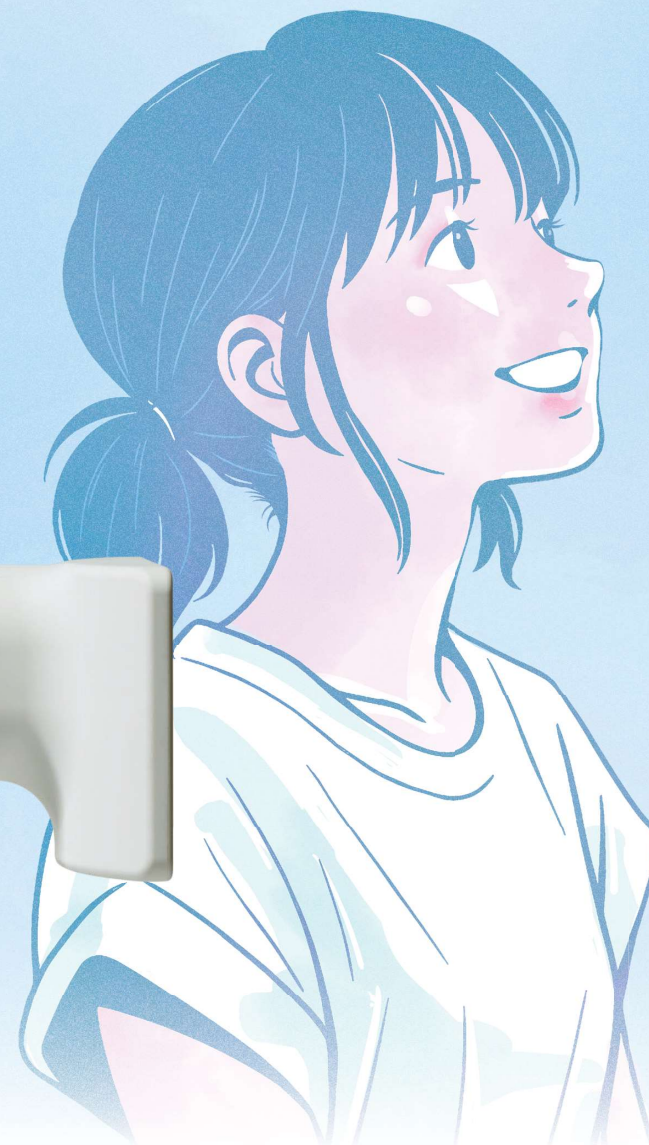


2025 AUTUMN UPDATE

nodoca 3

A-NC1

※使用目的又は効果、警告・禁忌を含む使用上の注意等の情報につきましては最新の注意事項等情報（添付文書）を必ずご確認ください。
※nodocaは6歳未満の患者については有効性及び安全性が評価されておらず、使用は推奨しておりません。



 Aillis

NEW

新機能
搭載

nodocaによるインフルエンザ検査時に 新型コロナの判定ができるようになりました。

新型コロナスクリーニング機能

- 当社独自の咽頭画像データベースや新たに追加した新型コロナの咽頭画像・診療情報等をもとにAIを開発。
- インフルエンザ検査時のオプション機能※として、新型コロナに特徴的な所見・症状等の検出有無を判定します。
- 新型コロナの判定結果として「検出あり/検出なし/判定保留」を表示します。

※インフルエンザウイルス感染症の疑いのある方にインフルエンザ判定を実施する場合に、新型コロナの診断支援を目的として利用できるオプション機能です。本機能のみを単独で利用することはできません。

新型コロナ
スクリーニングAI新型コロナに
特徴的な
所見・症状等の
検出検出有無が
判定できない+ 検出
あり- 検出
なし判定
保留PCR法検査に対する
感度・特異度感 度 **80.3%** (61/76)
特異度 **77.9%** (88/113)※「検出あり/検出なし」症例
に限定して算出(判定保留
の数は分母に含まれない)判定保留
の表示率 **72.8%** (507/696)[本数値は対象集団の
有病率によって変動します。]

PCR法検査との比較 (nodoca電子添文より)

	PCR		
	陽性	陰性	計(表示率)
検出あり	61	25	86 (12.4%)
検出なし	15	88	103 (14.8%)
本品 小計(あり+なし)	76	113	189 (27.2%)
判定保留	171	336	507 (72.8%)
計	247	449	696 (100%)

補足

偽陽性率 **5.6%** (25/449)偽陰性率 **6.1%** (15/247)

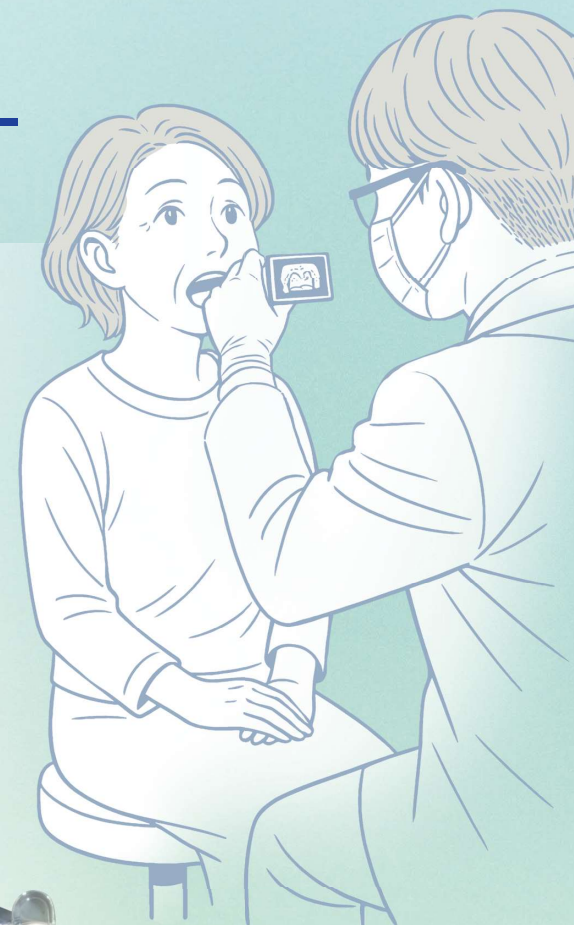
※判定保留が表示された場合は、原理の異なる他の検査の追加実施をご検討ください。

解説動画はこちら



※インフルエンザウイルス感染症及び新型コロナウイルス感染症の診断は、本機能の結果のみではなく臨床症状等を考慮し総合的に判断してください。

※インフルエンザ判定と本機能は、使用目的や感度・特異度等の性能等が異なります。また、それぞれの結果は独立した処理により出力され、互いに影響を与えることはありません。



1

nodocaを用いた検査の3つの特長

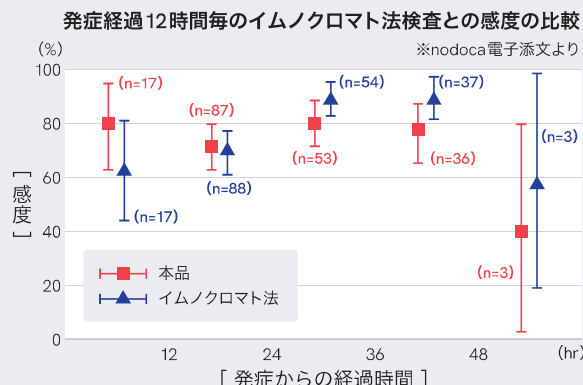
インフルエンザ

発熱・症状が出始めて すぐに検査可能

nodocaを用いた検査は、ウイルス自体ではなく患者さんの症状や体の変化に着目するため、発症早期の検査にも利用可能です。

注 治験では統計的に有意な差は認められませんでした。発症後12時間以内において、nodocaによる検査はイムノクロマト法よりも感度が高い傾向が認められました。

PCR法検査に対する
nodocaのインフルエンザ検査の
感度76.0%、特異度88.1%



2

インフルエンザ 新型コロナ

痛みの少ない、患者さんにやさしい検査

nodocaは、専用カメラで撮影した咽頭画像と問診情報等をもとにインフルエンザの判定と新型コロナウイルスのスクリーニングを行うため、痛みの少ない、患者さんにやさしい検査を提供します。

インフルエンザ 新型コロナ

3

判定開始から数秒～十数秒で判定結果取得

nodocaは判定開始から数秒～十数秒※でインフルエンザと新型コロナウイルスの判定結果を取得できます。患者さんにその場で検査結果をお伝えできるため、患者さんが待合室で検査結果を待つ時間を削減できます。

※インフルエンザ判定時に同時に新型コロナスクリーニング機能を実施した場合。

発熱診療で nodocaの 活用シーンが拡大

nodocaによる検査の流れ

Step 1

問診入力

WEB問診サービス
との連携も可能

Symview

メルブWEB問診
など

Step 2

咽頭撮影・ 咽頭所見入力

インフルエンザ

Step 3

AI判定

検出あり
NEW
新型コロナ
スクリーニング

診断/追加検査の検討